

読者ひろば

三船さん思い
平和復興願う

高谷和生 62

市民団体代表
(玉名市)

「世界のミノネ」と呼ばれ、日本を代表する俳優である故三船敏郎さんが日本では3人目(十ゴ

ジラ)となる米国ハリウッド「ウォーク・オブ・フェーム(名所の歩道)」の星形敷石に名が刻まれることとなった。没後18年となる三船さんの殿堂入りは、これまでの受賞者と比べて格違いとの評もあるが、満を持しての受賞である。

熊本で敗戦を迎え、限庄に俳優の原点となる戦時中の演劇写真を残した三船さんの軌跡を知者として、また1人の日本人として心より祝福したい。三船さんは熊本市南区城南町の陸軍限庄飛行場に1945(昭和20)年4月、前任の滋賀県八

日市第八航空教育隊から来た。古参上等兵として長く冷飯を食らい、ここ限庄では本部付け気象班員として、出撃する部隊に気象情報を伝えるのが任務だった。

三船さんの戦時資料調査で上京した際、息子の史郎さんから「頼まれて出撃する特攻隊員の写真を撮って見送った」「最後の出撃前夜、少年兵にスキヤキをふるまった」など、涙ながらに話した三船さんの姿を初めて知

った。三船さんの軍隊への反骨精神や無謀な戦争に憤慨する強い思いは、この軍隊経験から生まれ

た。昨年開催された第72回ベネチア国際映画祭で、ドキュメンタリー「ミノネザ・ラスト・サムライ」が上映された。三船さんの偉業とその人生に迫る本作品は、高い評価がなされたという。限庄から始まった三船さんの戦後は、もしかすると一生「侍」を演じ、平和を祈っ

た姿なのかもしれない。この受賞を機に三船さんの思いも重ね、地震で傷ついた限庄飛行場の残された震災遺産を通して「平和を願う」復興に向けてさらに活動を進めていきたい。

投稿される方へ

「読者ひろば」への一般投稿、若者コーナーは450字程度、主張・提言は600字程度。◇欄外に郵便番号、住所(アパート・マンション名も)、氏名、年齢、職業(無職の方は元職でも可)、電話番号を明記する◇趣旨を変えず文章を直すこともあります◇原稿は返却しません。二重投

稿、採否の理由等の問い合わせはお断りします。匿名は不採用。掲載分には薄謝を送ります。

あて先は①郵送 〒860-8506、熊本市中央区世安町172、熊日「読者ひろば」係
②ファクス 096(363)1268
③Eメール

hiroba@kumanichi.co.jp